

# 令和3年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 文化生涯学習室

## 1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市青少年センター
	<p>※令和3年4月1日付で、指定管理運営業務について、株式会社アドバンスコープと令和8年3月31日までの5年間契約</p> <p>※平成22年4月1日よりネーミングライツの導入を行い、株式会社アドバンスコープがパートナーに決定。通常使用する施設名称を【アドバンスコープADSホール】とする。平成28年4月1日付で、5年契約更新。☆H.30.10.9付で名称を【adsホール】に変更する旨承諾。令和8年4月1日付で5年間契約更新</p>
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	株式会社 アドバンスコープ 名張市箕曲中村18番地2
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	利用件数：102件 利用者数：14,575人 料金収入：6,029,688円
(4) 市支出額	指定管理料 28,518,000円
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設等の利用の許可に関する業務</li> <li>②施設等の利用に係る料金の収受に関する業務</li> <li>③施設等の維持及び修繕に関する業務</li> <li>④施設等の利用に際しての窓口相談に関する業務</li> <li>⑤主催事業の企画及び実施に関する業務</li> <li>⑥物品等の貸し出しに関する業務</li> <li>⑦市の行政施策との連携</li> <li>⑧施設・設備の清掃、保安等の管理業務</li> <li>⑨市との連絡調整及び事業報告</li> <li>⑩その他、必要な業務</li> </ul>

## 2. 事業計画の達成状況

提案内容	達成状況及び提案事項
平等利用の確保及びサービスの向上	<p>貸館について、利用者感染症対策を伝えるため、「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のお願い」を三重県指針に合わせて更新し、説明、三重県指針をすぐに確認頂けるようにQRコードを記載した。また、客席やロビーには使用禁止の貼り紙もお客様が使いやすいように更新して貸出しを行った。打合せ時にお客様の要望を確認し、感染症対策の提案ができるように努めた。感染症対策が2年目となり、スタッフもお客様も経験値が上がり、工夫して催しを実施する事が出来た。</p> <p>市民に楽しんでいただくための事業開催については緊急事態宣言が発令されたため、大規模事業については、延期となった公演もあったが、3本実施できた。また、その時々々の状況に合わせて柔軟に対応したが、コロナ禍のイベント開催の難しさを実感した。</p> <p>三井住友海上からの助成事業を実施し、低価格で質の高いコンサートを開催する事が出来た。チケット販売も名張文化協会や伊賀地域のピアノ教室と協力関係を築くことができた。</p> <p>次年度はコロナ禍でも実施できる事業を検討していきたい。</p>

施設の効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)	<p>催物案内に貸館利用を掲載するなどし、楽屋を含め積極的に利用を呼びかけた。</p> <p>ケーブルテレビのニュース番組等で貸館イベントの様態を放送するなどし、広く市民にPRを行った。</p>
施設の適切な維持管理及び 経費削減	<p>草引きや屋上を含む施設の清掃などは定期的にスタッフで実施し、施設の美観に努めた。</p> <p>経費削減のため、印刷物を精査し、裏紙を使用するなどしている。</p>
管理を的確に行う人的構成 (組織体制等)	<p>管理面の研修は、利用者の安全対策、監視体制に関し、AEDの操作・管理に必要な普通救命講習を職員全員が受講。</p> <p>また、避難訓練にも年2回取り組み、消防署職員の指導を受け、緊急時の避難誘導が的確に、迅速にできるよう習得した。</p>
指定管理者からの総合評価	<p>貸館については昨年度より、利用料収入は上がったが、通年に比べるとまだまだ低調だった。コロナ禍でも催しを実施できるよう工夫し、お客様に提案、アドバイスをしていく事が必須と考えている。</p> <p>今後もホールだけでなく、平日の楽屋の利用も呼びかけ、地域の皆さまが安心して利用できるホールを目指していきたい。</p>

### 3 施設設置者（名張市）評価

<p>・令和3年度の施設利用については、引き続き《新型コロナウイルス感染症拡大防止対策》を最大限に取っていただいたうえで、且つ、制限しながらの貸館対応のなか、会館をご利用いただく方々への対応については、主催者と共に注意喚起を行っていただいた。</p> <p>・従事者全員の健康管理については、以前より十分にご配慮いただいているところではあります。施設利用にあたっては、より安全に、より快適にご利用いただくことを目標とし、職員全員の柔軟な対応と軽やかな行動により、利用しやすい施設に発展するよう、利用者の立場となって、より一層心掛けていきたい。</p> <p>・施設の管理運営等について、利用者の安全対策、監視体制について、従事者の避難訓練、AEDの操作・管理に必要な普通救命講習の受講を指定管理の条件として義務付けており、これについては十分な研修を行っているという報告を受けている。</p> <p>非常時には、指定管理者内での連携・調整を行い、従事者全員が共通認識のもと、問題が発生した場合でも、事故無く、利用者の安全を確保し、迅速かつ適切な対応をお願いしたい。</p> <p>・〔ads ホールが主催する自主事業〕については、『講演会～さんねんないきもの辞典』や『立川談春独演会』、また、三井住友海上の助成事業『仲道郁代ピアノリサイタル』にも取り組み、入場者には大変満足いただけたようである。</p> <p>恒例事業の『Stage Concert』も、山田佐和子さんを迎え、ピアノコンサートを開催。演奏会の実施回数を増やすとともに、休止している『なばり名画座』も、好評であることから、事業開催を計画していきたい。</p> <p>新しい事業を企画いただき、引き続き、市民のニーズに合った作品を選定のうえ、次年度も活発に、市民に楽しい文化事業の提供をいただけるようお願いしたい。</p> <p>・施設を利用される主催者へのイベント開催に向けては、新型コロナウイルス感染症に対する注意とお願いをするとともに、入場者への対応等についても、より一層、徹底した指導をお願いしたい。今まで行ってきた万全の対応に加え、安全に施設をご利用いただけるよう、施設管理者として、ご指導くださるようお願いしたい。</p> <p>また、目標として進めている平日の利用促進や、楽屋の単独利用について、今後も、母体であるケーブルテレビやFMラジオ等を活用し、継続的に広報活動を行い、施設稼働率の向上を図っていただきたい。</p>
---

a d s ホール(名張市青少年センター)の管理運営業務に係る収支決算書

(令和3年度)

(単位:円)

区分	項目	計画額	決算額	決算額の内訳
収 入	利用料金収入	5,000,000	6,029,688	利用料金収入 6,029,688
	事業収入等	8,270,000	3,665,476	入場料収入 3,180,500 事業・協賛広告 145,500 参加費収入 304,000 雑収入(自主事業) 35,476
	その他収入	400,000	1,104,320	コピー代 1,760 チケット販売手数料 4,650 指定管理施設事業継続支援金 1,000,000 貯金利息 136 名張文化協会電気代他 60,000 生命共済制度配当金 12,774 友の会収入 25,000
	市指定管理料収入	28,518,000	28,518,000	
	収入合計(A)	42,188,000	39,317,484	
支 出	人件費	18,000,000	18,316,723	社員4名(本社兼務)、パート社員1名 15,217,558 社保 2,401,307 厚生費 697,858
	事務費	919,000	1,036,894	通信費(電話料金) 149,370 " (送料) 152,985 事務消耗品費 375,128 広告宣伝費 101,200 支払手数料 53,400 諸会費 35,000 旅費 0 貸借リース費 163,416 雑費 6,395
	事業費	8,015,000	4,406,256	講演会『どんねんないきもの辞典』 市民文化ホステージ(KIDS&一般 1日間) 仲道郁代ピアノ・リサイタル 立川談春独演会 山田佐和子ピアノ・リサイタル 大人たちのdokidokiコンサート
	管理費	15,092,000	18,201,591	委託料 12,680,740 保険料 129,380 備品・消耗品費 269,060 水道光熱費 3,269,087 修繕費 311,564 消費税 1,541,760
	支出合計(B)	42,026,000	41,961,464	
収支(A) - (B)		162,000	△ 2,643,980	